

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 6年 6月 25日

愛知県知事 殿

提出者

住 所名古屋市守山区苗代一丁目 1 - 29
号

氏 名 株式会社 保坂工業所

代表取締役 保坂 光俊

電話番号 052 - 791 - 8341

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 保坂工業所
事業場の所在地	名古屋市守山区苗代一丁目 1 番 29 号
計画期間	令和 5 年 4 月 1 日 から 令和 6 年 3 月 31 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
1 事業の種類	06 : 総合工事業
2 事業の規模	元請完成工事高 : 29 億円
3 従業員数	159 人

④産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>ガス管理設工事及びガス管理設跡舗装復旧工事</p> <p>道路掘削工事：がれき類→再生処理業者に委託して再生砕石、再生アスファルトとして再資源化</p> <p>ガス管取替工事：廃プラスチック類→再生処理業者に委託して圧縮、破砕して再資源化</p> <p>舗装工事：がれき類→再生処理業者に委託して再生砕石、再生アスファルトとして再資源化</p> <p>舗装切断工事：汚泥→中間処理業者に委託して脱水後、再資源化</p>
-----------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項					
<p>(管理体制図)</p> <p>導管部</p> <p>↓</p> <p>部長 加藤 義博 (産業廃棄物処理総括責任者)</p> <p>↓</p> <p>マネージャー 望月 俊哉 (産業廃棄物管理責任者)</p> <p>↓</p> <p>安全品質管理チーム 渡辺 義徳 (産業廃棄物保管所責任者)</p>					
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項					
1 現状	【前年度(令和5年度)実績】				
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	廃プラスチック類	—
	排出量	5155.1 t	8.59 t	1.85 t	—
	<p>(これまでに実施した取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非開削用の機械を2台導入 				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	廃プラスチック	—
	排出量	4800	8	2 t	—

		t	t		
		(今後実施する予定の取組) ・非開削工事の受注を増やすこと。			
産業廃棄物の分別に関する事項					
1	現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・発生する汚泥は水槽に保管している。 ・ポリエチレン管は、直管はコンテナに曲管類はフレコンバックに 収納して分別している。			
	②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・建設工事で発生する残土にがれき類が混入しないよう作業員に指導 また、混入したものは除去、分別をしている。			

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項					
①現状	【前年度（ — 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	—	—	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	—	—	—	—
	(これまでに実施した取組)				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	—	—	—	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	—	—	—	—
	(今後実施する予定の取組)				
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項					
①現状	【前年度（ — 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	—	—	—	—
	自ら熱回収を行った	—	—	—	—

	産業廃棄物の量		
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組)		
	②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	—	—
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	—	—	
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	—	—	
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ — 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	—	—

		(今後実施する予定の取組)			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項					
1 現状	【前年度（令和5年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	廃プラスチック類	—
	全処理委託量	5155.1 t	8.59 t	1.85 t	—
	優良認定処理業者への処理委託量	107.31 t	—	1.85 t	—
	再生利用者への処理委託量	5155.1 t	8.59 t	1.85 t	—
	認定熱回収業者への処理委託量	—	—	—	—
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—	—	—	—
	(これまでに実施した取組)				

(第5面)

②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	廃プラスチック類	—
	全処理委託量	4800t	8 t	2 t	—
	優良認定処理業者への処理委託量	110t		2 t	—
	再生利用者への処理委託量	4800t	8 t	2 t	—

		認定熱回収業者への 処理委託量	—	—	—	—
		認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託量	—	—	—	—
		(今後実施する予定の取組) ・優良認定処理業者を選定し委託する。 ・委託先処理業者への年一回、実地確認を実施する				
※事務処理欄						

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

